



第11話

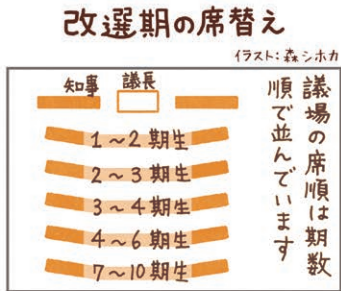
議会の質問ってムズカシイ

これまで8回登壇しました。いつも「質問するぞ」と決めてから1か月ほどかけて準備します。テーマを選び、市民の方たちや県の担当課や専門家などにいろいろ話を聞いたり、資料を調べたりしながら、約6000文字の原稿を書いていきます。はじめの頃は悩みすぎて眠れなくなることもしばしばでしたが、最近は少し楽になりました。先日、家で原稿を音読みして練習していたら、そばで聞いていた息子から「言

葉が難すぎ!」と指摘あり。確かに。私も議員になる前はそう思っていたなあ……。



議場は県庁の南側にあります。言葉が難しくてすみませんが、どうぞ傍聴にお越しください。



おおつかあい・プロフィール
1974年1月10日生まれ。旭操小学校、操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学教育学部卒業。99年より福島県で農業研修。4年間の大工修業の後、自宅を建て、大工として働く。2011年3月福島原発事故により一家で岡山に避難。5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、避難移住者のサポートや福島の子どもの保護受け入れなどを行う。北区建部町に夫、3人の子どもと暮らす。2016年から県議会議員。

大塚愛 いっぱ通信

岡山県議会議員
大塚愛 県政レポート[第11号]
発行：2019年7月(2019年6月議会報告)
最新情報を発信しています
Facebook:
・みどり岡山
www.facebook.com/greenokayama
・大塚愛
www.facebook.com/ohtsuka.ai.3
●みどり岡山ホームページ:
http://midori-okayama.org

〔事務所〕
〒700-0971
岡山市北区野田5-8-11
Tel:086-244-7721
Fax:086-244-7724
e-mail:info@midori-okayama.org
http://midori-okayama.org/
〔自宅〕
〒709-3122
岡山市北区建部町吉田321
携帯:070-5056-3808
e-mail:ai.raku@shokan.jp



みなさま、こんにちは。
県議会議員の大塚愛です。

豪雨災害から1年が経ちました。被災された方の生活再建と地域復興への歩みをお祈りすると共に、多発する自然災害から命を守る防災・減災を一步いっぽ進めていかなければと思います。

私は8年前の福島原発事故で被災した一人ですが、地震列島の日本で今も原発を



おおつかあい
大塚愛

県政レポート(2019年7月発行) [第11号]



いっぽ通信

P.02-03 高齢者の自動車運転・太陽光発電条例

P.01 原発事故の費用は誰が負担するもの?

P.02-03 おもな活動記録から「野生桃が植えられました」

P.04 愛ちゃんがゆく!ー県議体験記ー／日々のうごき(2019年5月〜7月)

日々のうごき

2019年5月〜7月

5.6 旭川流域ネットワーク懇親会

5.8 創造環境研究所のお話

5.9 全員協議会

5.10 いっぱプラス収録

5.11 原田謙介キックオフ集会

5.12 「子どもの体と心」講演会 @西川原プラザ

5.13 県教組と意見交換

5.16 臨時議会

5.17 保育園親子遠足

5.18 宇甘川荘ふれあい運動会、加茂川ホリデイフォレスター

5.19 御津将棋大会

5.20 建部フードバンクを考える会

5.21 常任委員会(環境文化保健福祉)、備前県民局報告会

5.22 特別委員会(総合計画・行政改革)

5.23 みどり岡山会議、おしどりマコさんを囲む会

5.24 たけべ部会議

5.25 福祉オンズおかやま総会&講演会、みんなの集落研究所活動報告会、ホームレス支援きずな講演会

5.26 竹枝小学校参観日、あったかファミリー総会、虐待防止条例市政報告

会、エネミラ講演会

5.28 カモミール防災カフェ@吉備公民館、福島原発おかやま訴訟、DV防止サポートシステムをつなぐ会・岡山

5.29 御津河原邸の懇談、たけべ部@建部町文化センター

5.30 常任委員会、会派代表質問読みあわせ

5.31 特別委員会、空き家セミナー、息子14歳誕生日

6.1 五城村、立憲自治の会総会&種子法意見交換会、ホテルまつり@宇甘西

6.4 子ども未来・愛ネットワーク総会

6.5 後楽館中学運動会、保育園役員会

6.7 デジタルドゥ健康法体験、外国人労働者勉強会

6.8 野生桃植樹祭@吉備津彦神社、たんぼネットワーク意見交換会、里山活性化勉強会@福祉交流プラザ大井

6.9 どりりんピック@五城小学校、がんばったねフェス@勤労者福祉センター

6.10 6月議会開会、朝日高校一中十日会

6.11〜19 議会質問原稿作成

6.13 田植え・夏祭り準備会@竹枝小

6.14 フードバンクを考える会

6.15 加茂川ホリデイフォレスター

6.16 保育園PTA人形劇@御津公民館

6.17 パーマカルチャー講演会 @ロマン高原かよう

6.18〜26 一般質問(25日登壇)

6.21 学童保育運営委員会

6.22 被害者サポートセンターVSCO総会、原田謙介&枝野幸男講演、高井たかし後援会

6.27 特別委員会、県警ヒアリング、吉田地区懇談会

6.28 小学校読み聞かせ、常任委員会、吉備国際大学Charme応援講演連

6.29 岡山市戦没者追悼式、菅野直樹「老いと演劇」、ディスレクシア勉強会@岡山大学

6.30 四つ手網@九幡

7.3 6月議会閉会

7.4 大島堅一氏・脱原発学習会、カナダへの留学生と意見交換

すが、ここでも問題に思うことがあります。

電気代の約3分の1にあたる「託送料」は、電気を送るための電線使用料です。たと

えば新電力会社が再生可能エネルギーを売電する時にもこの託送料を払うのですが、来春以降この託送料に原発事故の賠償金と廃炉のための費用が上乗せされることが分かっています。

本来、賠償金は汚染を起こした電力会社が負担すべきですが、電気を使って来た

原発事故の処理費用は35〜70兆円になる恐れ(日本経済研究センター2019年試算)。その負担は税金や電気代で国民に転嫁されつつあります。(提供:東京電力HD)

ソーラーで充電したコムスに試乗。高齢者や中山間地域の足としても可能性を感じます。試乗したい方はご連絡下さい。

国民が遑って負担するものという考えで、省令が定められました。このことはほとんど私たちに知らされないまま進められており、その総額が今後増えていくことも懸念されます。

これから予定されている託送料金訴訟(グリーンコープのHP参照)に注目しつつ、電力会社には原発事故の責任を真摯に受け止める姿勢と費用負担の見える化を求めたいと思います。

Ohtsuka Ai “IPPO ♥ TSUSHIN” [no.011] 2019.7

Ohtsuka Ai “IPPO ♥ TSUSHIN” [no.011] 2019.7

6月定例会一般質問
(2019年6月18日～25日)

2期目を迎え、6月議会で質問しました

高齢者の自動車運転について

Q. 高齢者による運転事故が続き、免許の返納を悩む方も多いと思います。しかし、公共交通の少ない地域では生活に困るため、運転に不安があっても続けざるを得ないような現状があります。自動ブレーキなどがついた安全運転サポート車も望ましいですが、「今から買い替えるのは難しい」という方も多く、後付けできる踏み間違え防止装置が効果的だと思います。取り付けの補助を行ってはどうですか？

A. 踏み間違え防止装置をつけた自動車の



送り迎えの支えがあれば、みんなに会える場に来れます@吉備中央町

試乗体験会を行って普及啓発に取り組むつつ、補助制度を含め、効果的な普及方法を研究していきます。

Q. 免許を返納した後も生活の質や健康を保つ

て生活するためには、生活パターンを上手くシフトさせることが大事です。そのためには返納を考え始めた方に、その後の生活に役立つ情報(移動販売や宅配、交流の場や移動支援など)を提供して、地域包括支援センターの相談に繋ぐのがよいと思いますが、そのような情報提供を行ってはどうですか？

A. これまで自主返納した方には地域包括支援センターを紹介してきましたが、今後は免許センターで認知



質問時間はひとり25分。固い答弁にもめげず、一步でも前へと頑張っています。

機能検査を受けた方にも情報提供することを検討したい。

Q. 今後の自動運転技術にも期待したいところですが、返納後の生活をカバーする社会資源はまだ十分ではありません。総社市の「雪舟くん」や美咲町の「黄福タクシー」のような効果的な仕組みや、吉備中央町の通所付添サポート事業のような移動支援の事例を参考にしながら、今後の交通や移動について考えていけるセミナーを行ってはどうですか？

A. 県民の関心の高まっているこの機会を捉え、官民が連携して地域の課題や効果的な方法を考えるセミナーを開催したい。

精神保健教育(心の病気を学ぶ授業)について

Q. 心の病気と言われる精神疾患は、全国で392万人と実に人口の3%となっており、その半数以上が20代前半までに発症しています。精神疾患のうち統合失調症は100人に1人が罹り、中学から高校で発症することが多く、発症から5年間の治療がその後を決めると言われています。しかし、精神疾患への偏見や知識不足がある現状では、発見や治療が遅れることが課題となっており、自殺予防の観点からも、精神疾患にかかりやすい中学や高校の時に正しい知識を学ぶことが必要です。

岡山市内の中学校と連携して、「心の病気を学ぶ授業」をしている民間団体の活動(いっぽ通信10号参照)も参考にしながら、効果的な精神保健教育に取り組んでいただきたい。また、2022年度から高校で精神疾患を学ぶことになっていますが、現場から不安の声も聞かれます。教員研修についてはどのように？

A. 体育や学校保健担当の教師を対象に、精神疾患に関して丁寧に説明を行い、資料などを提供していきます。

Q. 実際に生徒にメンタルヘルスの問題が生じた時に、学校と医療機関との連携は？

A. 生徒に疾患が疑われる場合は、担任や養護教諭、スクールカウンセラーなどが面談をして、必要に応じて医療機関の受診を促しています。また、その後も配慮事項について確認し、回復に向けた環境づくりに努めています。

Q. 教師の知識がまだ十分でないために、実際に罹患している生徒が見過ごされている現状も見られるので、早期発見と早期治療に繋げる研修に努めてほしい。



心の病気を学ぶ授業@旭東中学校

太陽光発電条例の住民とのコミュニケーションについて

Q. この度、太陽光発電施設に関する条例が制定され、また環境アセス条例の適用もできることになり、土砂災害の危険があるエリアへの制限や、環境などについての審査によって、より安全な導入に向けて一歩進んだものと評価しますが、県民の不安に真摯に向き合うためには、あと一歩踏み込んだ内容が必要です。住民との適切なコミュニケーションを求める中で、事業者と住民の間で協議した内容を報告させることや、京都府のようにホームページでの公開を考えてはどうですか？

A. 許可申請にあたって、地域住民への説明会の概要や、住民からの質問とそれへの回答などを明らかにするよう求めることにし、地域住民の声に適切に対応するよう指導・助言していきたい。

おもな「活動記録」から

野生桃植樹祭

@吉備津彦神社(6月8日)

山に自生する野生桃の木が、県内には約350本確認されているのですが、この岡山古来の野生桃を活用しようという研究会が発足しました。野生桃は白桃に比べると実は小さく、種類によって種の中身がアーモンドのように食べられること

や、発酵させると美味しいジュースになることもわかっていて、今後の活用も楽しみです。この度桃太郎伝説として日本遺産に認定された吉備津彦神社の神域に、この野生桃が植樹されることになり、保護への協力を依頼されたご縁で、私も植樹祭に参加させていただきました。お参りの際には、本殿脇に植えられた野生桃をご覧ください。野生桃の研究に協力してくださる方

も募集されています。詳しくは、野生桃研究会まで。(086-952-0832 瀬戸南高校内)



吉備津彦神社の本殿そばに植えられた野生桃(宇甘溪で採種)

防災カフェ「逃げ遅れる人々」

@吉備公民館(5月28日)

さまざまな障害をもつ方たちが、東日本大震災の時に逃げ遅れたり、避難所で苦労された実話を伝えるドキュメンタリー映画「逃げ遅れる人々」を観て、参加された皆さんと話し合いました。床に降りることができず車いすに座ったまま寝ていた方、視覚障がいや発達障がいが理由で避難所生活をあきらめた方、避難先で支援

を探しながらの生活再建に苦労される方、逃げ遅れて亡くなった方のことなど、映像を通してその大変さが伝わりました。参加者からは、発達障がいをもつ子にどうやって避難を伝えたらいいのかわからないという意見も出ました。岡山の防災を考えていく上でとても参考になるこの映画は、カモミールで出張上映を行っています。

○お問い合わせ:

camomille.okayama@gmail.com

『カモミール』…東日本大震災から岡山に

避難移住したメンバーを中心に、移住者交流会や防災カフェ、親子座談会などを吉備公民館で行っています。

74分ドキュメンタリー。障がい者の視点から作る防災計画が必要です。

